

地域おこし協力隊通信

vol.57

集落支援担当 讃井孝廣隊員



こんにちは。地域おこし協力隊の讃井です。問寒別地域おこし協力隊事務所の愛称が「ほっと」に決まりました。5月に問寒別地区の皆さんに愛称を募集し、6月に投票を呼びかけた結果「ほっと」が最も多くの支持を得ました。この愛称は問寒別の荒さんが考えてくれたものです。

先日、荒さんのご自宅に伺って愛称決定のご報告と記念品をお渡ししてきました。記念品は、私がおすすめる問寒別に新しくできた食堂「ドゥモンド」のたい焼き引換券と幌延町産のミズナラ樽で熟成させたワインです。

荒さんからは、「問寒別地区のためになるように協力隊として頑張してほしい」との言葉をいただきました。「ほっと」に込められた思いを忘れず、みなさんのご期待に応えられるよう頑張っていきたいと思います。



荒 知さんへ記念品の進呈を行いました

☆名づけ親の荒さんにお話を聞いてみました☆

「ほっと」という名称にはいろいろな意味があります。地域おこし協力隊が住民の困りごとを解決すると「ほっと」したり、事務所が憩いの場として「ほっと」したり、夢が語れる「ホット」な場所であったり。いろいろな「ほっと」がある場所であってほしいとの思いから、この名称を考えました。

観光振興担当 貞廣拓哉隊員



皆さんこんにちは。地域おこし協力隊の貞廣です。最近、一眼レフカメラを持ち、あらゆるところで写真撮影に励んでいます。幌延町の観光スポットとしてトナカイ観光牧場や秘境駅などが有名ですが、忘れてはならないのが「利尻礼文サロベツ国立公園」です。

利尻礼文サロベツ国立公園は、日本最北の国立公園として、幌延町では幌延ビジターセンターとパンケ沼がある下サロベツ原野園地が含まれます。協力隊に採用される前からこの場所が気に入り、花のことに詳しくはなかったけれど、ここで見られる美しい風景に心を打たれ、何度も訪れたのを覚えています。

そこで、幌延町にある貴重で、魅力的な観光資源である国立公園の素晴らしさを周囲に伝えようと、「ほろのべ・サロベツ花*NEWS」の発行を始めました。定期観察を行い、週1回状況をお届けする企画です。始めた当初は、毎週続けられるか不安でしたが、色々な方たちの協力を得て継続することができています。「花*NEWS」を見て、サロベツ原野に足を運びきっかけとなり、花たちの息吹を感じてもらえたら嬉しいです。



サロベツ原野の代表花 エゾカンゾウ



右上のQRコードから「花*NEWS」を見ることができます。その他公共施設等でも掲示中です。

お問い合わせ先：(集落支援) 問寒別地域おこし協力隊事務所「ほっと」
(観光振興) 企画政策課 企画政策グループ

電話・告知端末機：9-7367
電話 5-1114 告知端末機 5-8814